

自動運転の一層の推進

①実施概要

自動運転サービスの実現・本格化に向けて、大阪・関西万博において来場者輸送を担う一部のバスについて、下記の3つのルートでの自動運転（レベル4を含む※）を実現する。

想定ルート①：新大阪駅・大阪駅ルート



出典：来場者輸送具体方針(第5版)を加工して作成

想定ルート②：舞洲駐車場～万博会場



出典：第4回大阪市自動運転バス実装協議会資料より抜粋

想定ルート③：万博会場内の外周道路



（実施主体）想定ルート①：京阪バス、阪急バス

②、③：Osaka Metro

（実施場所）万博会場内外

（実施期間）万博開催時

②今後の実施方針

バス事業者を含めた関係者間で、下記の取組を具体化

- ・万博開催時の走行ルートにインフラ設備の整備
- ・万博開催時と同ルートにおいての実証実験の実施

③予算

【国土交通省】

令和6年度補正予算額：32,600百万円の内数

令和7年度概算決定額：20,905百万円の内数

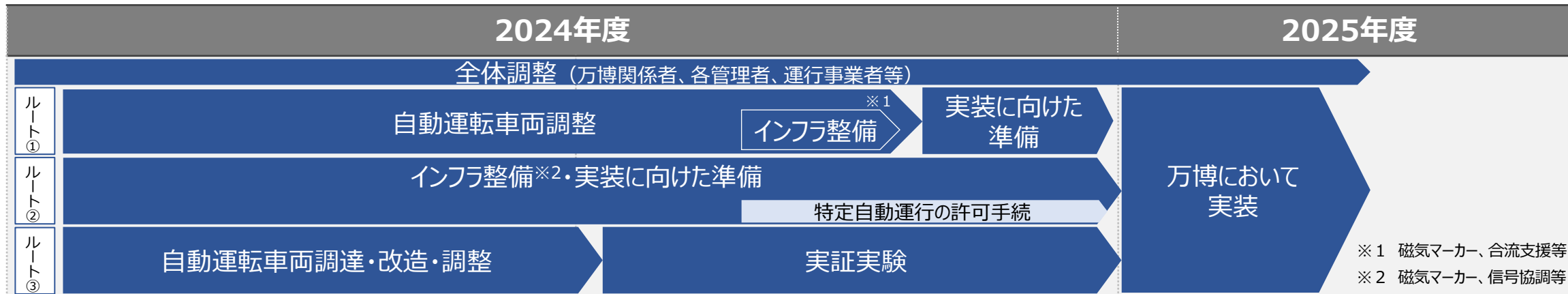
【経済産業省（グリーンイノベーション基金事業）】

令和2年度第3次補正予算額：102,000百万円の内数

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101560.html

※2025年にめざす自動運転レベルをレベル4とし、今後関係者間で安全面・技術面及び運用面で検討を進め、実現可能なレベルを決定していく

④工程表



※1 磁気マーカー、合流支援等

※2 磁気マーカー、信号協調等